

研究プロジェクト報告

研究プロジェクト3：成果報告（2018年度～2020年度）

津田 博子（スポーツ文化学部／身体教育系）

1. 研究プロジェクト名

オリンピックと芸術文化

2. 研究プロジェクトの概要

オリンピックにおける芸術文化に関する研究を行う本研究プロジェクトでは、2018年度～2020年度にかけて長野パラリンピックにおける開閉会式の演出、ロンドンオリンピックにおける開閉会式の演出、オリンピックのファクトシートの内容分析の3つを調査研究テーマとして設定した。しかしこの内、ロンドンオリンピックにおける開閉会式演出については、新型コロナウイルス感染症の拡大による海外渡航の禁止と調査時期が重なったことで、研究を延期せざるを得ない状況となってしまった。

3. 研究成果報告

①オリンピック・パラリンピック期間中の芸術文化活動に関する調査

担当：津田 博子，松本 真咲，齋藤 雅英

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、大会期間中にこれまでどのような芸術文化活動が行われていたかをまとめるため、1972年札幌オリンピックにおける芸術文化活動に関する調査とオリンピックスタディーセンター（ローザンヌ）での資料調査を行った。札幌オリンピックに関する調査では、地域に古くから伝わる素朴で

優れた伝統芸能の中から18演目の民族芸能と民謡が紹介されていたことが把握できた。オリンピックスタディーセンターでは所蔵資料を閲覧し、オリンピック・パラリンピックの開閉式、閉会式に関わるファクトシートを収集した。ファクトシートの検討を行うため翻訳作業を行った。

②長野パラリンピック（1998年）の開閉会式の演出に関する調査

担当：津田 博子，松本 真咲，仲間 若菜，齋藤 雅英，富田 幸祐

長野パラリンピックでは開閉会式の総合プロデューサーに久石譲が選出され、開閉式では長野県野沢温泉村の祭事である道祖神祭りで使用される社殿が聖火台として使われ、閉会式では野村万之丞を中心に「大田楽」が全体を貫く形で実施された。これらの開閉会式における演出計画がどのようにして練られていたのかを文献収集及び関係者に対するインタビューを実施し、調査を行った。

調査は2018年10月31日～11月2日、2019年1月6日～7日、2019年2月25日～26日の3回実施した。資料収集は長野市立長野図書館、長野市立南部図書館、長野市公文書館、県立長野図書館、公益財団法人八十二文化財団ライブラリー82、長野市障害者福祉センターにて行った。インタビューは、長野オリンピック・パラリンピックに時に事務局に勤務していた山ノ内町役場に勤務する鈴木隆夫氏および報道関係で関わった元信越放送の村山隆氏の2名に対し実施した。

両名からは長野パラリンピックの開閉会式に関

する事柄だけでなく、長野パラリンピックに関わった際の様々な話を伺うことができた。

4. 主な発表論文等

富田幸祐, 津田博子, 松本真咲, 斎藤雅英「長野パラリンピックの舞台裏：信越放送の視点 村山隆氏インタビューより」『オリンピックスポー

ツ文化研究』第6号, 2020年.

5. 研究組織（プロジェクトメンバー一覧）

研究代表者：笠井 里津子

研究者：関根 正美, 石井 隆憲, 津田 博子, 斎藤 雅英 (2019年3月まで), 村田 由香里, 仲間 若菜, 松本 真咲, 富田 幸祐

(受理日：2021年3月31日)